

大分教育事務所長 山香昭先生による公開授業

～2021.12.21(火) 青江小学校 「若手育成に係る研修会」～備忘録 文責 伊藤

1. きらりと光る子どもたちの姿

3校時～3年生～「言われてうれしい言葉、教室からなくしたい言葉」

自分が言われてうれしい言葉をどんどん書かせていく。「いくつ書けた？」1番多く書けた子に「ほめ言葉チャンピオンだね」子どもたちからはあたたかい拍手。

黒板に一人一つずつ「うれしい言葉」を書いていく。「まだ書いてない人いる？」所長の言葉に周りを見回し、まだ書いていない友だちへさっと差し出されるチョーク。自然に出る、友を思いやる姿。



一生懸命考え考えワークシートを埋めていく



友だちと頭をつきあわせて考えの交流

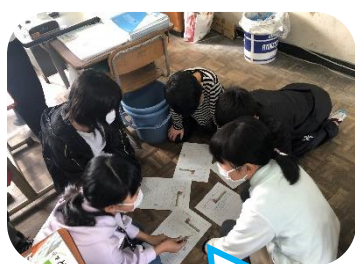


最後に板書した言葉をみんなで声に出して読む。あたたかい言葉を胸に刻むように

4校時～4年生～「1本のチューリップ」(道徳 モラルジレンマ)

あなたならどちらを選ぶ？ 全員が状況を把握し同じ土俵の上で考えの出し合いができる、わかりやすい簡潔なストーリー。AかBか立場をはっきりさせる。一通り考えを出し合うが対立したままでは終わらせない。「どうする？このままでは対立したままだね」と所長。子どもたちからは「～すればいい」のつぶやき。そこから自然な流れでグループ活動に。さっとグループで話せる子どもたち。大人には思いつかない解決策が出される。友だちの考えを聞いて変わった子、さらに自分の考えに自信を持った子。対話による深め合い。

AかBか。「どちらでもよい」はなし。自分の立場を決め度合いの違いをネームプレート貼る位置で表す。



円になって座ってじっくりと話し合う



「一緒に考えよう」声をかけ合いながら



対立で終わらないために・・・真剣にアイデアを出し合う



友だちと似ているけど自分の言葉で言いたい